

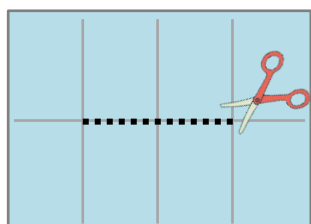
ふじさんの高さは、37
6メートル。空にうかが雲を
つきめけるくらしいの雲さで
ふもとにはゆたかな森で、
カモシカなどの生きものや、
めずらしい草が見られます。
さらにのぼっていくと、雲の
上から見る大はくよりもくのけ
しきがまっています。

K291 『ふじさんにつぼんいち！』
ひさかたチャイルド



大きなツシエツの間に、
小さな家がありました。この
家をしていのは、アリス
とツシエツ、それとオアリス
さんだけです。「こんなにかわ
い家なのに、だれも住んで
いないなんて！」ある日、ア
リスとツシエツはこっそり家
の中に入ってみました。

K933 『だれもしらない小さな家』
エリナー・クラマー／作
小宮由／訳 佐竹美保／絵
岩波書店



紙を8つにおいて、半分にひろげて
ね。てん線のところに、ハサミで、き
りこみをいれて、くみたてれば、本の
かたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

＜ホームページもみてね！＞



2023年
1月号



E 『よるのあいだに…』
みんなをささえるはたらく^{ひと}たち



ポリー・フェイバー／文
ハリエット・ホブデイ／絵
BL出版

わたしがパジャマにきがえ
るころ、ママは仕事^{しごと}にいきました。
夜のあいだも、町^{まち}ではたく
さんの人がはたらいています。
パトロールをするけいさつか
ん、ニュースをとどけるレポー
ター、せんろ^{こうじ}の工事をする人た
ち……。そしてわたしのママ
も、大切な仕事^{たいせつ}をしています。

K913 『オハヨウどろぼう』

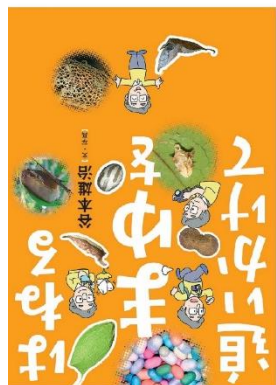


おのりえん／文・絵
理論社

〈オハヨウどろぼう〉は、人
がねているあいだに「おはよ
う」ということばをぬすんでし
まうそうです。ひがいにあった
しんちゃんは、自分の「おはよ
う」をとりもどすために、はん
にんさがしをはじめました。
聞きこみ^{きこみ}をしていると、あ
やしい家^{いえ}があることがわかり
ます。

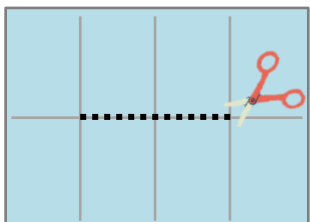
生物研究家の谷本さんは、田んぼの近くで3ミメートルほどの飛びはねる物体を見つけた。近くで見ると細かい毛が生えていて、虫のようにも、植物の種のようにも見えます。専門家に聞いてみると、それはゾウムシという虫のまゆだとわかりました。まゆの中にいる幼虫は、どうやって、何のために飛びはねているのでしょうか？

K486『はねるまゆを追いかけて』
谷本雄治／文・写真 文研出版



小春には、同じ塾に通う英と
いう親友がいます。でも、別の
中学校を目指す英とは、受験が
終われば会えなくなってしまう
のです。そこで二人は、思い出
にかるたを作ることにしまし
た。絵が得意な小春が絵れを作
り、国語が得意な英が読みれを
作ります。
かるたのれは順調にふえて
いきましたが、小春はとつぜ
ん、塾をやめることになってし
まいます。

K913『ノレノレかるた
二人でつくる卒業制作』
こまつあやこ／著 毎日新聞出版



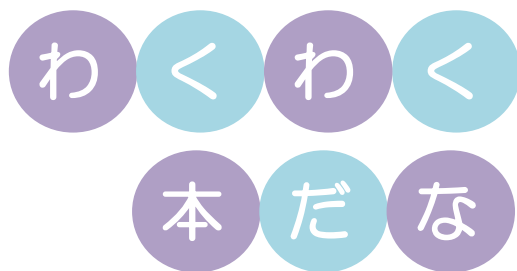
紙を8つにおいて、半分にひろげて
ね。てん線のところに、ハサミで、き
りこみをいれて、くみたてれば、本の
かたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

<ホームページもみてね！>



2023年
1月号

4 5 6 年



K913

『ニャンの日にまいます！』

木内南緒／作 酒井以／絵 岩崎書店

晴也は、名字が変わったこと
をからかわれ、学校がいやにな
っていました。そんなある日、
川でおぼれていたねこを助け、
カギ助と名付けて飼うことにな
りました。

それから、晴也はときどきふ
しぎな夢を見るようになります。
夢の中では、カギ助が人間の
言葉を話せたり、クラスメ
イトたちが晴也を王様のようにも
てなしてくれるのです。